

年度末のそうじ - 木床教室のそうじ

印刷する

用意するもの

 <p>教室や廊下・階段に最適なすべりにくく安全な樹脂ワックス</p>	 <p>ロウの除去性に優れ、日常の多目的洗剤としても使用できるアルカリ洗剤</p>	 <p>土砂を除去するための自在ホウキと文化ちりとり</p>	 <p>洗剤塗布用に専用のモップを用意する。</p>	 <p>洗剤バケツと水バケツを用意。ぞうきんも数枚用意する。</p>
 <p>誰にでも簡単に取り扱いえる安全なポリッシャー 床洗浄機械</p>	<p>あると便利</p>  <p>汚水の回収を効率的に行える吸水バキューム</p>	<p>あると便利</p>  <p>送風乾燥機・充分な風量で乾きの悪い雨天でも乾燥を早められる。</p>	 <p>ワックス専用ラーグ 水拭き専用ラーグ</p> <p>水拭き・ワックス塗布が効率よく行えるモップハンドルと各種替え糸</p>	 <p>ハンドパッド 洗浄パッド(兼)</p> <p>洗浄補助ツール ポリッシャー用洗浄パッドと、隅の洗浄に適したツール</p>

そうじのポイント

1. 土砂・ホコリの除去
2. 隅の汚れの除去
3. 特にひどい汚れの除去
4. 水拭き作業…洗剤分の残留防止

※作業は廊下より先に行います。廊下を先に行くとせっかくなのでまた廊下が汚れてしまいます。

<p>1</p>  <p>机・教壇などを教室の外へ運び出し、床のゴミやほこりをきれいに取ります。</p>	<p>2</p>  <p>NEWプロインパクトを50倍に希釈し、塗り広げます。</p>	<p>3</p>  <p>ポリッシャーに洗浄パッド(茶)を取り付け、ゆっくり丁寧に洗浄を行います。</p>
<p>4</p>  <p>壁際などポリッシャーが当たらない部分はハンドパッドで擦り落します。</p>	<p>5</p>  <p>吸水バキュームで汚水回収します。バキュームがない場合はモップなどで吸い取ります。 ※洗浄後、直ちに汚水を回収</p>	<p>6</p>  <p>固く絞ったモップで床全体を3回水拭きします。</p>
<p>7</p>  <p>30分以上乾燥させます。</p>	<p>8</p>  <p>ワックスモップで樹脂ワックスをまんべんなく塗り広げます。 ※一教室当り1Lが目安です</p>	<p>9</p>  <p>樹脂ワックスが乾くまで歩かないでください。</p>
<p>10</p>  <p>完全に乾燥させます。(30～40分程度、雨の日などの乾きの悪い日は1.5倍位長めにします。)</p>	<p>11</p>  <p>再度樹脂ワックスを塗り広げます。一教室当り1Lが目安です。</p>	<p>12</p>  <p>床面が完全に乾くの待って、机などを元に戻します。</p>

注意事項

1. 雨の日や気温が低い日はワックスの乾きが悪く、仕上がりにも影響します。できるだけ天気の良い日に行います。
2. 木床のため、洗剤を濡らし過ぎないようにし、洗浄後は直ちに汚水を回収します。
3. 洗剤モップや水拭きモップ、ワックスモップは別々に用意します。
4. ポリッシャーがない場合は、デッキブラシなどで汚れを落とします。
5. 樹脂ワックスはモップに浸み込ませてから塗布します。
(木床の溝から樹脂ワックスが浸み込まないように塗ります。)
6. 樹脂ワックスを塗る時、ゴシゴシ擦るような塗り方はしてはいけません。
(仕上がりを悪くします。)
7. 樹脂ワックスが乾くまでは歩いたり、物を置かないようにします。

※ハクリ作業は木床を傷めることがありますので、ハクリ作業の代わりに本作業（アルカリ性洗剤と研磨力ある洗浄パッドによる洗浄）を行います。
どうしてもハクリ作業が必要な場合は、当社担当営業までご連絡ください。

